

高梁川流域協力隊通信

高梁川流域
CROSSING

2023.3 Vol. 11

紹介いたします！
空き家利活用で
フリースクール開校

皆様、こんにちは。地域おこし協力隊のポールファスです。

玉島に来て、あっという間に一年が過ぎようとしています。振り返ってみるととても充実した1年でした。

さて、今回は、その活動のなかで実を結んだ空き家の利活用について紹介をしていきたいと思います。

遡ること約1年前、玉島穂井田地区にある空き家のオーナーから受けた相談が始まりました。築150年の古民家なのですが、住む方が見つからず、田畑山林合わせて3ヘクタールの敷地が荒れ果てて困っており、何とか活用できないか、と。現地に伺ってみると、かなり荒れた状態で、すぐには活用できないため、とりあえず片付けから始めることにしました。

色んな方の協力もいただいて片付けを終えたあと、最初は宿にするか、レストランにするか、はたまた誰かに住んでもらうかなど、使い方について色んな案が出てきました。

① 最初に伺ったときの様子。



②片付け中。たくさんの方にご協力いただきました。



ちょうどその頃、知り合いの「NPO こうのさと」さんに来て頂く機会がありました。

「NPO こうのさと」さんは妊婦さんの支援をしているNPOで、その活動の中で、支援しているご家庭で学校に通えない子供が増えており、その子どもたちは、コロナの影響もあって出かけることもままならず、子どもたちが自然の中で自由に遊び、学べる場所を探しているとのことでした。そこで、片付けの終わった、この空き家を紹介したところ、あっという間に有志が集まってフリースクールとして利用することが決まり、この4月に無事開校することができました。

子どもの少なくなってきた穂井田地区に、子どもたちの元気な声が戻ったことに、地域の方々は喜んでおられると感じましたし、玉島に新しい地域おこしとなる場所が1つ増えたとも感じています。

ここで、地域おこし協力隊と空き家の関係についても触れておきたいと思います。実は、全国には約850万戸の空き家が存在し、今後も増加を続けていくと言われていています。地域おこし協力隊が活動する地域にも多くの空き家が存在し、地域の問題になっていることも少なくありません。そのため、地域おこし協力隊でも、空き家や空き店舗をいかに活用していくかは非常に重要なミッションになってきます。

玉島にも空き家や空き店舗は少なくなく、人が住まなくなり管理が行われなくなると状態が悪化するため、そこを食い止めるために日々頑張っております。しかし、空き店舗ではお店は止めても住まいとしては使っておられることも多く、活用までのハードルが非常に高く、なかなか今回紹介できたような活用までには繋がらないのが実情です。

空き家、空き店舗を上手く活用するために、そのような問題を解決するためのノウハウを持った人や相談する窓口などが各地域にあると、地域の方も安心して相談することができて、問題解決のきっかけになります。

今回、空き家を利用してフリースクールを開校することができたのは、地域の人や関係者の皆様のご協力があったことで、人と人のつながりの大切さを実感することができました。私が活動している玉島地域にも、地域をより活性化するために、色々な相談が気軽に出来る場所があればいいなと思い、地域おこしの拠点を作る計画を立てております。もし、このような拠点が実現すれば、今までよりも効果的に地域に貢献でき、地域の方にももっと喜んでいただけるのではないだろうかと考えています。この拠点づくりも、玉島に住んでいる皆様の応援をいただきながら進めていければと思っています。

③フリースクール開校のお祝いで、備中神楽もありました。



私、ポールファスは、玉島のにぎわい創出のため、人と人とのつながりを大切にする朝市、玉島みなと朝市で毎月、現場に出て運営をお手伝いしておりますので、見かけた方は、是非お声かけください。

それでは、今後の活動もお楽しみ下さい。

最後まで読んでいただきありがとうございました。